

平成29年度 東部地区公開講座 「気持ちを表すことばすごろく」のレシピ

1. ねらい

小学校2年生～6年生の国語の教科書（上）巻末には、「言葉のたから箱」の頁があり、その学年で使えるようになることが望ましい「人物、ものや事柄、気持ちを表す言葉」が収められています。これは、豊かな語彙や言語の知識・技能を、全ての学力を支える基盤として重視し、実生活の場で生きて働く言葉の運用力を身につけられるようにするためにあります。

この中の4年生のことばに着目し、すごろくにしました。ピンクやクリーム色で止まったら、取り札を取って、答えるようになっていきます。5分～10分程度のすごろく遊びをしながら、絵を見てその気持ちを説明したり、選択肢の中から選んで説明したり、書いてある表情をしてみたりするなかで、4年で学ぶ気持ちを表すことばを知り、使い方に気づくことができると思います。

子どもたちの気持ちの表現が、少しでも広がり、増えることをめざして、ご活用ください。

2. 作り方

- (1) ケースの中に、すごろく版（A3）、すごろくのルール、ピンクの取り札画用紙1枚、クリーム色の取り札画用紙1枚、絵の取り札画用紙2枚、ダブルクリップ1個、色画用紙の切れ端が入っていることを確認します。
- (2) 各画用紙を切って、輪ゴムで束ねたり、小袋に入れたりします。
- (3) すごろく版は、帰ってからフィルムルックスを貼るか、2つに切ってラミネーターをかけ裏でつなぎ合わせ、折りたたみ式にします。
また、すごろく版を小さくコピーしてラミネートして、箱のふたに貼ると、中身が分かって便利です。
- (4) 画用紙を切ってクリップで留め、名前を書いて、コマを作ります。帰ってから同様の作り方で必要な児童数分を作ってください。
- (5) すごろくのルールも帰ってから人数分印刷するか、またはパウチして、回して何度でも読めるようにすると良いです。

3. 使い方

- (1) 2人～6人程度で遊びます。人数が少ないと5分で終わります。
- (2) 机を合わせて、すごろく版をマスキングテープで机に貼ります。
コマの画用紙に自分の名前を書いて、スタートの位置に載せます。
- (3) ルールブックをみんなで読んで、ルールの確認をします。
すごろく版の横に、ピンク、クリーム色、白の取り札をそれぞれ、山にして置きます。
クリーム色で止まったら、クリーム色の札か白の札のどちらかを選んで、山から取ることを伝えます。
- (4) 順番を決めて、ルーレットを回し（またはすごろくを振って）、その数だけコマを進めます。
- (5) ピンクやクリーム色のところで止まって、取り札を取っても、うまく答えられない時は、「手伝ってください」と言うことを教えましょう。手伝ってくれた友だちには「ありがとう」と言うよう促しましょう。
*子どもが分かっていない様子の時は、教師が解説をしたり、ヒントを出したりして、理解を助けるようにしましょう。
- (6) 白の絵札の説明に正解はいくつもあるので、子どもの説明をよく聞いて、誉めたり解説を足したりしてあげましょう。
- (7) 先にゴールした人には、みんなで拍手をして、残った人がx c ゴールするまで続けます。

○作成協力者 前小倉南特別支援学校 養護教諭
屏（旧姓 坂上）寛祥子先生 イラスト

